

2 主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街

Point



- ・地域の主体的なまちづくり活動及び地域の連携による市民自治の推進
- ・雇用創出や就業支援の推進、中小企業への支援の充実
- ・札幌らしい新産業の育成とコールセンター等のニュービジネス企業等の誘致促進

	—主要事業—	予算額（千円）
市民の 主体的な地域 づくりの支援	まちづくりセンター地域自主運営化推進	81,500
	◎白石区複合庁舎基本計画策定	10,000
	平岸まちづくりセンター・平岸会館改築事業	124,000
	区役所施設等耐震化緊急対策事業	50,400
	◎札幌星園高等学校跡施設関係	185,200
	地域と創る冬みち事業推進	54,000
札幌の経済を 支える企業・ 人の支援	中小企業金融対策資金貸付	86,503,000
	◎札幌みらい資金貸付	4,526,500
	緊急雇用創出推進事業関連（全46事業）	577,595
	ふるさと雇用再生特別対策推進事業関連（全4事業）	105,222
	重点分野雇用創造事業関連（全45事業）	1,728,938
	○若年層就業促進事業	28,400
	○若年層職場定着支援事業	4,603
	◎新卒未就職者・若年求職者人材育成事業（☆）	665,033
	就業サポートセンター等事業	136,839
	IT企業協業化促進事業	26,150
	ベンチャー支援事業	21,000
	◎商店街再生事業	24,400
	○都心商業活性化支援事業	10,550
札幌らしい 新産業の育成 と企業の誘致	◎道内連携マッチング事業（☆）	5,838
	◎新たな担い手対策事業	9,171
	◎公共交通ICカード導入推進	1,074,000
	IT市民サービス推進事業	9,620
	雇用創出型ニュービジネス立地促進事業	148,590
	新産業誘致促進事業	91,000
	広域連携企業誘致推進事業	4,700
	ものづくり産業誘致促進事業	44,600
	企業誘致強化事業	16,734

☆：再掲（重点分野雇用創造事業関連）

◎：新規事業、○：レベルアップ事業

● 地域によるまちづくりセンターの運営を推進

まちづくりセンター地域自主運営化推進



新規2地区

地域の主体的なまちづくりを推進するため、まちづくりを希望する地域に委ね、地域の目標や課題の解決に向けた活動を確実に実施することができるよう支援します。

● 白石区複合庁舎の基本計画を策定

白石区複合庁舎基本計画策定



市民、民間企業との協働により、白石区役所を南郷通1丁目南に移転・建替えるための基本計画を策定します。

● まちづくり・市民活動の拠点を整備

平岸まちづくりセンター・平岸会館改築事業
区役所施設等耐震化緊急対策事業

まちづくりの拠点である平岸まちづくりセンター・平岸会館を改築します。また、耐震化を図るため定山溪出張所の移転改築に向けた設計等を行います。

札幌星園高等学校跡施設関係



昨年3月に閉校となった札幌星園高校の跡施設を改修し、NPO向けの貸事務所など市民活動を支援する施設を設置します。併せて、障がい者施設の作業受注の拡大を支援する元気ジョブアウトソーシングセンターを移転します。

＜H23年7月オープン予定＞

● 緊急雇用対策

緊急雇用創出推進事業
ふるさと雇用再生特別対策推進事業
重点分野雇用創造事業

1.160人の雇用を創出

求職中の方を対象に、地域における重点課題分野等での就業機会を提供し、新たな雇用を創出します。

● 若年者の就業支援を充実

若年層就業促進事業
若年層職場定着支援事業
新卒未就職者・若年求職者人材育成事業

若年層・新卒未就職者を対象に、就職への意欲を高め、正規雇用につなげることを目的に、研修やカウンセリング、合同企業説明会などを実施します。また、職場定着のための研修や講演会を実施し、安定的な雇用の継続を推進します。



● 食関連産業を振興

道内連携マッチング事業

道内の優れた一次産品に付加価値を付け道外に販売するため、農水産業者と市内ものづくり企業とのマッチングを図ります。

新たな担い手対策事業

市内の遊休農地等を活用し、新たな「食」の担い手を育てます。



● 新たな資金により中小企業者の資金需要へ対応

中小企業金融対策資金貸付
札幌みらい資金貸付

融資枠 2,326億円を確保!

厳しい経営環境にある中小企業者の成長を金融面から支援するため、既存の融資制度を継続するとともに、新たに札幌みらい資金を創設し、中小企業者の資金需要に対応します。



＜札幌みらい資金＞

- 対象：札幌市経済の成長をけん引する札幌産業振興ビジョンの重点4分野「食」「環境」「観光」「健康・福祉」に関連する事業を営んでいる中小企業等
- 融資限度額：2億円/件

新規融資枠 100億円!

● 商業の活性化を推進

商店街再生事業

計画づくりや空き店舗活用、高齢者向けサービス等、商店街が抱える課題解決に向けた支援を拡充します。



都心商業活性化支援事業

都心部の集客増加に向けた取組や賑わい創出につながるイベント等を支援することにより、都心商業の活性化を推進します。



● 企業誘致を推進

雇用創出型ニュービジネス立地促進事業
新産業誘致促進事業
広域連携企業誘致推進事業
ものづくり産業誘致促進事業
企業誘致強化事業

「豊富な人材」「魅力的なビジネスコスト」「安全な環境」という3つの魅力を活かし、首都圏等での企業誘致を推進し、新たな雇用の場を創出します。

新規11企業を支援!

● SAPICAの利用を拡大

公共交通ICカード導入推進
IT市民サービス推進

市営地下鉄で利用できるSAPICA(ICカード)を市内公共交通機関(バス・市電)でH25年度から利用できるよう事業者へ補助を行います。また、電子マネーとして、区役所などで利用できるようにします。



3 高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街

Point



- ・高齢者の安心・安全な地域生活を支え、すこやかな暮らしを応援
- ・障がい者が地域の中で自立し、生き生きと暮らす環境を整備

高齢者の地域生活支援の充実

—主要事業—

予算額（千円）

地域密着型特別養護老人ホーム新築費補助	272,000
広域型特別養護老人ホーム新築費補助	330,000
○災害時要援護者避難支援対策	2,320
○消費者被害防止ネットワーク事業	1,800
敬老優待乗車証交付事業	4,631,294
地域福祉社会計画策定調査	4,052
法人後見事業（社会福祉協議会運営費等補助）	4,000
日常生活自立支援事業（社会福祉協議会運営費等補助）	54,573
認知症支援事業	10,747

障がい者の自立支援の促進

○消費者行政活性化事業	3,432
○障がい者「元気ショップ」運営事業	37,881
地下鉄中の島駅・東札幌駅エレベーター等整備	322,000
交通バリアフリー推進	5,700
○市有建築物バリアフリー改善事業	38,900
歩道のバリアフリー化	1,650,000
安全・安心な公園再整備事業	773,000
ケアホーム等新築費補助	25,000
パーソナルアシスタンス事業	136,477
障がい者交通費助成	2,713,714
知的障がい者等を対象としたホームヘルプ・養成プログラム事業	4,562
○特定障害者特別給付（ケアホーム等利用者支援分）	82,900
元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業	24,300

◎：新規事業、○：レベルアップ事業

● 特別養護老人ホームの整備を支援

地域密着型特別養護老人ホーム新築費補助
広域型特別養護老人ホーム新築費補助

定員218人増

入所待機者の解消に向けて、地域密着型特別養護老人ホーム（2か所）及び広域型特別養護老人ホーム（2か所）の整備を行う社会福祉法人に対して補助を行います。



● 災害時の助け合い活動を支援

災害時要援護者避難支援対策

災害時に、高齢者や障がいのある方等の避難を迅速に行うために、これまで進めてきたモデル事業で培ったノウハウを活用して、地域が自主的に行う取組を支援するとともに、普及啓発を行います。



● 消費者被害を早期発見・救済

消費者被害防止ネットワーク事業
消費者行政活性化事業

地域包括支援センターや民生委員等の関係機関と、消費者センターの消費生活推進員等が連携して、高齢者や障がい者の消費者被害の早期発見・救済と未然防止を図ります。

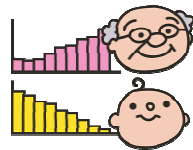
障がい者に対象を拡大



● 新たな地域福祉課題への対応に向けて

地域福祉社会計画策定調査

地域福祉を取り巻くさまざまな環境の変化等に対応するため、H15年度に策定した「札幌市地域福祉社会計画」を改定します。



● 地下鉄全駅にEV整備

地下鉄中の島駅・東札幌駅エレベーター等整備

地下鉄駅のバリアフリー化を推進するため、中の島駅（真駒内方面側）及び東札幌駅（新さっぽろ方面側）にエレベーターを整備します。これですべての地下鉄駅へのエレベーター設置が完了します。

地下鉄49駅整備完了



● 元気ショップの運営体制強化

障がい者「元気ショップ」運営事業

「元気ショップ」の売り場面積を拡大し、取扱商品の充実と市内すべての作業所等の製品を販売できる環境を整備することにより、さらなる売上げ向上を目指すとともに、販売体制の強化を図ります。

商品充実・販売強化



● 人にやさしいまちを創造・バリアフリー化を推進

市有建築物バリアフリー改善事業

新・札幌市バリアフリー基本構想に基づいて、市有建築物のバリアフリー化を推進します。重点整備地区にある施設でバリアフリー化を行い、誰もが使いやすい公共施設にします。

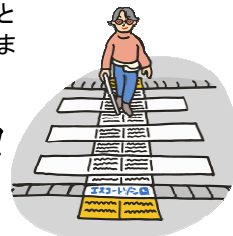
バリアフリー化工事6施設



歩道のバリアフリー化

高齢者や障がい者など、誰もが安心して歩けるよう、歩道の勾配や段差を解消し、誘導ブロックを設置することでバリアフリー化を推進します。

24地区43路線



安全・安心な公園再整備事業

公園の出入口や園路の段差解消、手摺の設置を進めるほか、ベンチ、水飲台、トイレ等の施設を誰もが使えるユニバーサルデザインの施設に改修します。

**身障者対応トイレ公園
段差解消・手摺の設置等26公園**

